

12月のベストセラーブック! ~集計の都合で少し前のランキング~

1 狸ケーキの図鑑 二子舎・鈴木二子

レトロ洋菓子店のアイドル的存在・たぬきケーキの紹介本がまたまたランクイン。
2025年に一番売れた本でもあります。快挙!

2 短編集 馬鹿と言われた方が馬鹿 せきしろ

3 型板ガラスの世界 内海慶一

4 ずっとあった店 BAR レモン・ハート編 スズキナオ (発行: ことさら出版)

5 月刊ビル味園特別号 BMC



★シカク月報の配布協力募集!

シカク月報を配ってくれるお店やスペースを募集しています。お礼としてチラシやショップカードを送っていただければ、シカクの店頭や通販で配布いたします。

現在の協力店舗さま 模索舎(東京)/BiblioMania(名古屋)/本屋B&B(東京)/ブックギャラリーポタム(東京)/FOLK old bookstore(大阪)/古本屋武拾dB(広島)/花森書林(神戸)/タコシェ(東京)/なんば紅鶴(大阪)/シネ・ヌーヴォ(大阪)/雑貨屋ミケちゃん(大阪)/ホホホ座(京都)/ロフトプラスワンウエスト(大阪)/オソプランコ(大阪)/solaris(大阪)/誠光社(京都)/恵文社(京都)/(本)ぼんぼんぼん(大阪)/トランスポップギャラリー(京都)/マルカ古書店(京都)/OF(岡山)/ON READING(名古屋)/古本屋YOMS(香川)/古本ながいひる(岡山)/エフロノット(大阪)/opal times(大阪)/ンケリコ(大阪)/SPBS本店(東京)/1003(神戸)/TOKYO PIXEL(東京)/喫茶ベーバームーン(静岡)/旧グッゲンハイム邸(神戸)/フレイムハウス(大阪)/ブックバーひつじが(福岡)/君の好きな花(福岡)/スペースせなか(京都)/ヘアトラップギャラリー(大阪)/宇野港編集室(岡山)/マニアパレル(オンラインストア)/カフェー積読舎(北海道)

★おたより募集!

シカク月報やシカクのお店・イベントの感想などをメールやDMで送っていただけると励みになります。

★ZINE・同人誌の委託募集!

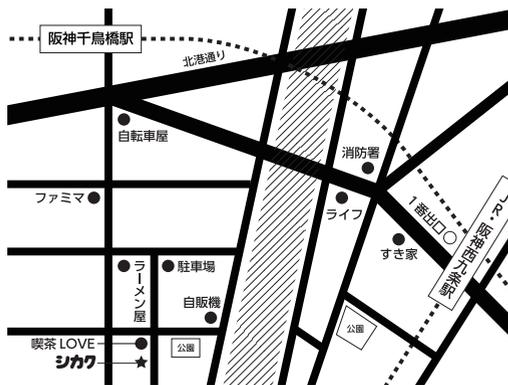
シカクではZINE・同人誌のお取り扱いをいつでも募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。

シカク

大阪市此花区梅香1-6-13
12時-18時 火水定休日



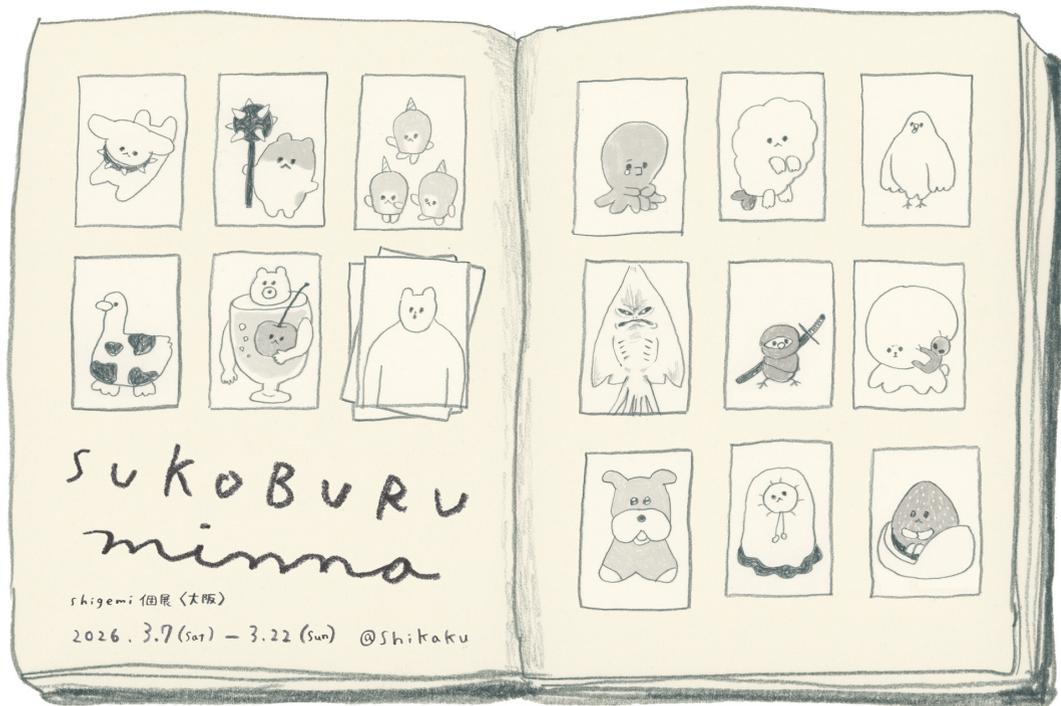
Website X(Twitter) Instagram



シカク月報 2026/ 02 ▶ 03 ¥00

リトルプレスと雑貨とギャラリーのお店・シカクが贈るゆかいなペーパー

こんな時代でも...



3/7 sat ▶ 3/22 sun

inシカク

展示

shigemi個展

sukoburu minna

イラストレーター・shigemiによるラフい、ゆるい、ほんのり狂気なオリジナルキャラクターを集めたラフガキ展。あの子やこの子、ラフな「らくがき」から生まれた仲間達が集合します!



1/31 sat ▶ 2/23 mon

inシカク 展示

ギブミ〜！トモタカ作品集 萬事満福 出版記念展



独自の世界観と躍動感ある画面構成、ポップな色使いで国内外で活躍するイラストレーター・ギブミ〜！トモタカ。待望の初作品集出版を記念した巡回展の大阪編。



3/1 sun

イベント 出店

ZINEフェス神戸

とき | 11:00~16:00 入場料 | 300円

ところ | KIITO デザイン・クリエイティブセンター神戸

全国で開催されている作り手と読者が直接つながるZINEのイベントに、シカク店主・たけしげが個人で出店します！歌人の奈良絵里子さんと一緒に作ったエッセイ集を販売予定です。



3/20 fri ▶ 3/21 sat

イベント 出店

おかやま文芸商店街

とき | 11:00~16:00

ところ | 表町商店街(上之町) しろちか広場

入場料 | 無料

全国の個性的な出版社・書店・図書館など、文学に関わる人々が集まるブックイベント。ワークショップやトークイベントの開催、飲食ブースの出店もある賑やかな2日間です！



臨時休業のお知らせ

3/19(木)

岡山出店の関係でお休みします！
要注意！



自分が死んだあとのことは興味がなくて、どんな葬式がいいとか骨をどうしてほしいとか一切どうでもいい。残った生きてる人たちがいいようにしてくれたらいい。なので、今生きている私がこの先死んだ私を弔うならどの本を入れてあげたいかって考えてみたら、これしかない。江國香織『つめたいよるに』の新潮文庫版を、天王寺ミオの上の本屋で買って入れたい。

もともと本を読む人ではなかったんやけど、大学受験の現代文で出題された『デューク』があまりにいい話すぎた。愛犬が死んで泣いている主人公の前に現れた不思議な男の子と一日おでかけする物語。受験本番やというのに解きながらずびずび泣いた。周りの鉛筆の音や紙をめくる音もなにも聞こえない、

物語に浸る素敵な読書のひとときやった。試験の後、天王寺で待ち合わせをしていた母に、「試験？めっちゃおもしろかった！」とよくわからん報告をしてその足で本屋へ行き、買ってもらったのが『つめたいよるに』。店員さんに聞いたら『デューク』が入っていると教えてくれた。

本を読むようになり、ありえないものをありえるように表現してもいいと知り、絵や服が鮮やかになり、背筋も伸びた。あらゆるきっかけになった一冊を最後に贈って、私の人生を肯定してあげたいな。

谷じゃこ 大阪生まれ、大阪在住。短歌のZINEを作るなどフリーで活動。歌集『クリーン・ナップ・クラブ』、『わりかしワンダーランド』（なべとびすこさんと共作）、フリーペーパー「バッテラ」など。鯖と野球が好き。

店主のひとりごと

◇◇たけしげのみゆき◇◇

営業スマイルが苦手だ。自分がやるのが、ではない。営業スマイルをされるのが怖いのだ。

気にしすぎといえればそれまでなのだが、話している相手が浮かべている表情と感情にズレがある、いわゆる「目が笑っていない」と感じる時がある。するとその違和感で怖ろしくなる。私なんかに無理しないで笑わないでください、と思う。それだったら無愛想でいてくれたほうが安心するくらいだ。

日頃付き合う人は自分で選べる生き方をしているため、目が笑っていない人は身近にはいないが、自分がお金を払ってサービスを受けるとたまにそういう人と出会う。お金を払って怖がるなんて損な話だが、「あの人は目が笑っていないのが怖い」というクレームは厄介客すぎて言えない。「あの人は無愛想だ」というクレームなら自然に感じるのに。ということは問題は誰にでも愛想を求める日本社会にあるのかも……。笑いたくない人は笑わずに過ごせる社会の実現、祈ります。

シカク出版だより

「大人の感情」がテーマの往復書簡集

文通 答えのない答え合わせ

古賀及子・スズキナオ

四六判/256ページ/ソフトカバー/1700円+税
ISBN: 978-4-909004-84-0 C0095



「感情的」という言葉は子どもや若者の特徴のように扱われがち。しかし大人だからこそ振り回されたり、大人になったから知る感情もあります。

切実なのに軽んじられがちな大人の感情を見つめ、それぞれの目線で汲み上げて綴ったちょっと弱気な対話の記録。